

## 県政の主な動きをお伝えします。

県のホームページでは、「[こちら知事室です](#)」で、定例記者会見のようすや県政の考え方も掲載しています。また、「[奈良県フォトニュース](#)」で県内のニュース等を写真と記事でお伝えしています。ぜひご覧ください。

### 県有施設の耐震検討チームを設置

県では、県有施設の耐震性の確保について、これまで順次、取り組みを進めてきており、耐震化率は60%（平成19年）から90%（平成30年）へと大幅に改善しています。

しかし、一部の施設については、県民の利便性や県財源の効率的な活用の観点から、耐震改修のみを行うのか、あわせてリニューアルや建て替えを行うのか等の検討を行ってきたため、現時点においても耐震性が低いままの施設があります。

また、最近、文化会館をはじめその安全性について、県民の皆さんの関心も高まっています。

これらを踏まえ、2月7日に庁内に「県有施設等耐震検討チーム」を立ち上げ、左記

の6点を基本的な考え方として耐震対策について検討を進めています。

これらの基本的な考え方のもと、耐震性の低い施設について、建物全体の耐震性を箇所ごとに詳細に分析し、大規模地震発生時に実際にどのような危険性があるのかなどについて専門家の意見を聞いており、その見解を踏まえ、個々の施設ごとにハード・ソフト両面の対応を検討しています。あわせて、専門家の見解が得られるまでの間においても、応急的な対応として競輪場スタンドの一部を立入禁止にするなど（2月末時点）、安全・安心の確保に向けて、順次、積極的に取り組みを進めています。

- ① 県民の安全・安心の確保を最優先に考慮しつつ、県民の利便性・快適性の向上に資するよう、耐震対策を含めた施設管理のあり方を検討
- ② 施設の利用者や耐震性能などを踏まえつつ、優先順位をつけて検討
- ③ 専門家の知見も参考にしながら、客観的な検討を行う
- ④ 施設の建替え・補強などのハード面対策及び、避難訓練・使用停止などのソフト対策両面で、幅広く対応を検討
- ⑤ 耐震性能の数値のみに着目するのではなく、必要に応じて、当該施設の今後のあり方も含めて幅広く検討
- ⑥ 施設利用者が耐震性能等の状況を正しく把握するため、正確かつ丁寧な情報発信

### 県有施設等耐震検討チームで検討する耐震性の低い(Is値0.6未満(lw値1.0未満))施設 (教育委員会の施設を除く、地方独立行政法人の施設を含む)

構造耐震指標	学校および不特定多数または社会的弱者が利用する施設	左記以外の施設
Is値0.3未満 (木造) lw値0.7未満	<ul style="list-style-type: none"> <li>●文化会館 ●美術館(旧館)</li> <li>●登美学園(指導訓練棟)</li> <li>●県立医科大学(一般教育校舎)</li> <li>●県立医大附属病院(旧館棟・管理棟)</li> <li>●西和医療センター(病院本館・南病棟)</li> <li>●橿原公苑(弓道場) ●吉城園(茶室)</li> <li>●競輪場(中央スタンド、第1払戻所、東サイドスタンド、第1投票所)</li> <li>●筒井寮(東渡り廊下棟、西渡り廊下棟)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●消防学校(屋内訓練場)</li> <li>●県立医大附属病院(医局棟)</li> <li>●薬事研究センター(本館)</li> <li>●南部農林振興事務所(湯ノ原所長公舎・職員公舎)</li> <li>●森林技術センター(木材加工実験棟)</li> <li>●五條土木事務所(本館)</li> <li>●生駒警察署</li> </ul>
Is値0.3以上0.6未満 (木造) lw値0.7以上1.0未満	<ul style="list-style-type: none"> <li>●美術館(新館接続棟)</li> <li>●民俗博物館</li> <li>●県立大学(4号館北館)</li> <li>●県立医大附属病院(A病棟)</li> <li>●登美学園(中軽度棟)</li> <li>●筒井寮(本館、給食・浴場棟)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●消防学校(本館) ●県立医科大学(大学本館)</li> <li>●南部農林振興事務所(本館事務所、土地改良課)</li> <li>●中央卸売市場(関連商品売場棟、冷蔵庫棟A棟、郵便局)</li> <li>●家畜保健衛生所業務第一課 ●家畜保健衛生所業務第二課</li> <li>●森林技術センター(本館、研修館)</li> <li>●奈良土木事務所 ●吉野土木事務所(本館)</li> <li>●浄化センター(最初沈殿池上屋2、汚泥濃縮タンク上屋、汚泥ポンプ棟)</li> </ul>

\*Is値(木造はlw値)とは建物の耐震性能を表す指標(構造耐震指標)で、国土交通省の告示では、Is値(lw値)が、0.3未満(0.7未満)の場合、「地震の震動及び衝撃に対して倒壊し、または崩壊する危険性が高い」、0.3以上0.6未満(0.7以上1.0未満)の場合、「地震の震動及び衝撃に対して倒壊し、または崩壊する危険性がある」とされています。